

524

三里塚現地に 6,580名が結集

雨をういて動労葉180名戦闘的託を貫徹

日刊 動労千葉

81.5.25

No. 747

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五〜六(公衆電話)22七二〇七

5・23(狭山)・24(三里塚)連続闘争の高揚にふまえて、さらに組織強化・拡大の闘いへ！

今日、政府自民党・支配階級は、日米共同声明・軍事同盟をもって、ますます軍事大國化の道を工ヌカレトし、労働運動の右翼再編、叩く労働組合への弾圧を強めてきている。こうした中で「出直し強行閉巻三周年・二期工事着工粉碎・空港廃港、524全国総決起集会」は、全国から六五八〇名を結集し、まさに戦争への道を拒む全人民の怒りの集会として圧倒的に成功した。

動労千葉は、この現地集会上、前日の狭山中央集会上の決起に引き継いで各支部より百八十名を結集し、最後まで闘い抜いた。

軍事大國化阻止・改憲阻止・反戦闘争を先頭で叩く！ 関西委員長あざむき

全体集会は、バス二台・百八十名の隊列で結集した動労千葉と全戸動員で大結集した反対同盟の結集をまわって12時45分、小雨まじりの中、内田行動隊長の開会宣言により開始された。

司会に、石井英、島岡役員を選出し、冒頭、主催者を代表して、石橋委員長代行より「片肺空港に対し闘いを強化してきた。動労千葉は、不当処分を押し返すに闘っている。われわれは、これに答える中で必ず廃港にしなければならぬ。戦闘の80年代を勝利に導く三里塚闘争を全国の全ゆる闘いと固く結合させて勝ちぬこう。戦争への道をひた走る反動鈴木体制を打倒する闘いこそ責務である」とのあいさつ、決意のべられた。

続いて北原事務局長より基調報告が行われた。各団体の決意表明の最初に、動労千葉関西委員長が「三月ジェット決戦ストに恐怖した政府・当局・動労本部と軍マル反動分子は、闘いへの敵対に必死である。不当処分を押し返す、労働者の真の闘いとして二期着工阻止・ジェット叩き貫徹、戦闘的労働運動の再生にむけ全国の仲間と共に叩く」との力強い決意表明を行った。続いて関西新空港反対住民代表、パイプライン反対住民、日本原、北富士、沖繩など、全国各地で闘いぬいでいる代表よりそれぞれ決意表明、メッセージを紹介

介された。関西新空港反対住民代表永井氏から、この間動労千葉支援の集会を30箇所及び開催し、支援基金を含め大きく前進していることが報告された。

今秋二期着工阻止・動労千葉支援を！ 二つぎに決意表明

集会は、その後、共同団体のあいさつに移った。部落解放同盟中央本部、東京実行委、全金本山労組などが次々にあいさつにたった。

あいさつにたった各代表は「二期阻止、動労千葉支援、共に闘いぬくと力強く決意をのべた。

カンパ要請の後、二期着工阻止の決意も固く反対同盟を代表して敷地内の小川源さん(木の根)、島村さん(東峰)、それに石毛・市東・小川憲各氏(天神峰)より、断乎とした決意表明がなされ、満場の拍手と声援がこれを包み激励した。

集会宣言、スローガン採択、ガンバロ一三喝をもつて集会を終え、岩山小跡地より、岩山記念館↓野戦病院までのデモを雨の中、整然とかつ力強く最後まで闘いぬいた。

5・23・24の狭山・三里塚への連日の大結集の力をもって更に組織強化拡大の闘いを全組合員一丸と行なって突き進んでいこうではないか。動労千葉の三月ジェット決戦の総決起は着実にその波及力を表わしてきている。自信と確信をもって進もう。